

2019年11月28日

苫小牧市長 岩倉博文 様

第6回カジノ(賭博場)誘致に反対する苫小牧市民の会総会
苫小牧市長への要請の決議

苫小牧市長への要請を「カジノ(賭博場)誘致に反対する苫小牧市民の会」では、
11月3日下記のように決議いたしました。

10月28日に苫小牧市議会臨時会では、緊急性が無いにもかかわらず、IRに関する
補正予算を成立させ、IR推進決議を多数決で可決しました。

しかし、5月の苫小牧市議会議員選挙では、IRカジノについて可否を求めた候補者は
少なく、かつ苫小牧市民は今もなおIRカジノ反対の声が多いことを考えると、28日に
苫小牧市議会臨時会で本来全会一致が原則であるにもかかわらずIR推進決議を多数決
で強行したことは、民意を無視した行為でした。議会制民主主義を守る上で、苫小牧市
議会臨時会でのIR推進決議に抗議します。

苫小牧市は、今年度までにIR調査・準備のために6,200万円を費やしています。
そして、今回市議会臨時会で1,800万円を環境影響調査費として成立させ、IR推進決
議を強行に可決しました。

しかし、最近の世論調査ではIRカジノ誘致に反対する人たちは64%、賛成の人たち34%
を大きく上回っています。

札幌弁護士会はIRカジノ誘致に反対する声明を発表、北海道児童青年精神保健学会・
北海道精神保健福祉士会もIRカジノ誘致に反対する声明を発表しています。さらに、
北海道自然保護協会もIRカジノ誘致に反対する知事要請書を提出しています。

このように各界の専門家の皆さまが、IRカジノに反対している現在、28日に苫小牧
市議会臨時会でIR推進決議を行うことは民意を無視した行為であり、そのIR推進決
議の内容と根拠は空虚で無意味なものであると言わざるをえません。

私たちが苫小牧市の発展と苫小牧市民の生活向上、苫小牧市の豊かな街づくりを願う
点では、市長および市議会議員全員と一致しています。

だからこそ苫小牧市発展と苫小牧市民の生活向上、苫小牧市の豊かな街づくりのために、
私たちはIR誘致に強く反対します。

すでに、私たちは2016年1月・2018年6月・2019年10月25日と3回にわたって、
総計2万0155筆におよぶカジノ反対署名を苫小牧市長に提出いたしました。

苫小牧市民と北海道民の半数以上の人々は、IRカジノ誘致に反対しています。

そこで、北海道・苫小牧市の発展と北海道民・苫小牧市民の生活向上、北海道・苫小牧市の豊かな街づくりのために IR 誘致に反対する理由を具体的に述べます。

1. カジノは刑法で禁止されている賭博です。北海道旅行客は増加しています。IR を造らなくても北海道旅行客は増え続けていきます。むしろ、カジノがあることで北海道旅行のイメージを悪化させてしまいます。たとえ、カジノ回数・賭け金上限の制限を設けても賭博の弊害は無くなりません。北海道地場産業を空洞化疲弊させてしまいます。IR カジノを誘致することは、北海道観光と北海道民の不利益になります。

2. IR カジノはギャンブル依存症患者を増やします。多重債務者・家庭崩壊・自殺者を出してしまいます。ギャンブル依存症患者を生み出してからギャンブル依存症対策医療施設を作ることは本末転倒です。ギャンブル依存症は治癒が困難な病気です。IR を造らないでギャンブル依存症患者を生み出さないことが、苫小牧市民・北海道民の命と暮らしを守る最善の方法です。

3. 北海道は IR の年間経済波及効果を 2,000 億円と発表しています。しかし、それほどの経済効果があるのでしょうか？ 地元経済が空洞化し、地元市民生活はむしろ悪化してしまいます。利益をあげるのは、海外のカジノ業者です。

地元地域の雇用と人口を増やしていくためには、地元経済・農業・漁業を手厚く育成することを優先するべきです。IR では、けっして地元経済は良くなりません。

4. 札幌ドーム 160 個分以上になる広大な敷地に IR の建物・関連建物を建設すると、周囲の自然環境を破壊します。ウトナイ湖とウトナイ湖周辺湿地に取り返しのつかない破壊をもたらします。IR を建設して、ラムサール条約登録地の貴重な自然環境を破壊しないでください。

5. IR カジノによって治安は悪化し、マネーロンダリングの温床に悪用されます。子どもたちの教育環境を悪化させないでほしいと強く願っています。子どもたちの未来の幸せを願う苫小牧市民たちの声を真摯に受け止めて、IR 誘致を止めてください。

以上、私たちは IR カジノ誘致に強く反対し、そのことを第 6 回総会において決議し、苫小牧市長へ要請いたします。

カジノ(賭博場)誘致に反対する苫小牧市民の会 共同代表 篠原昌彦 桑野祐規子